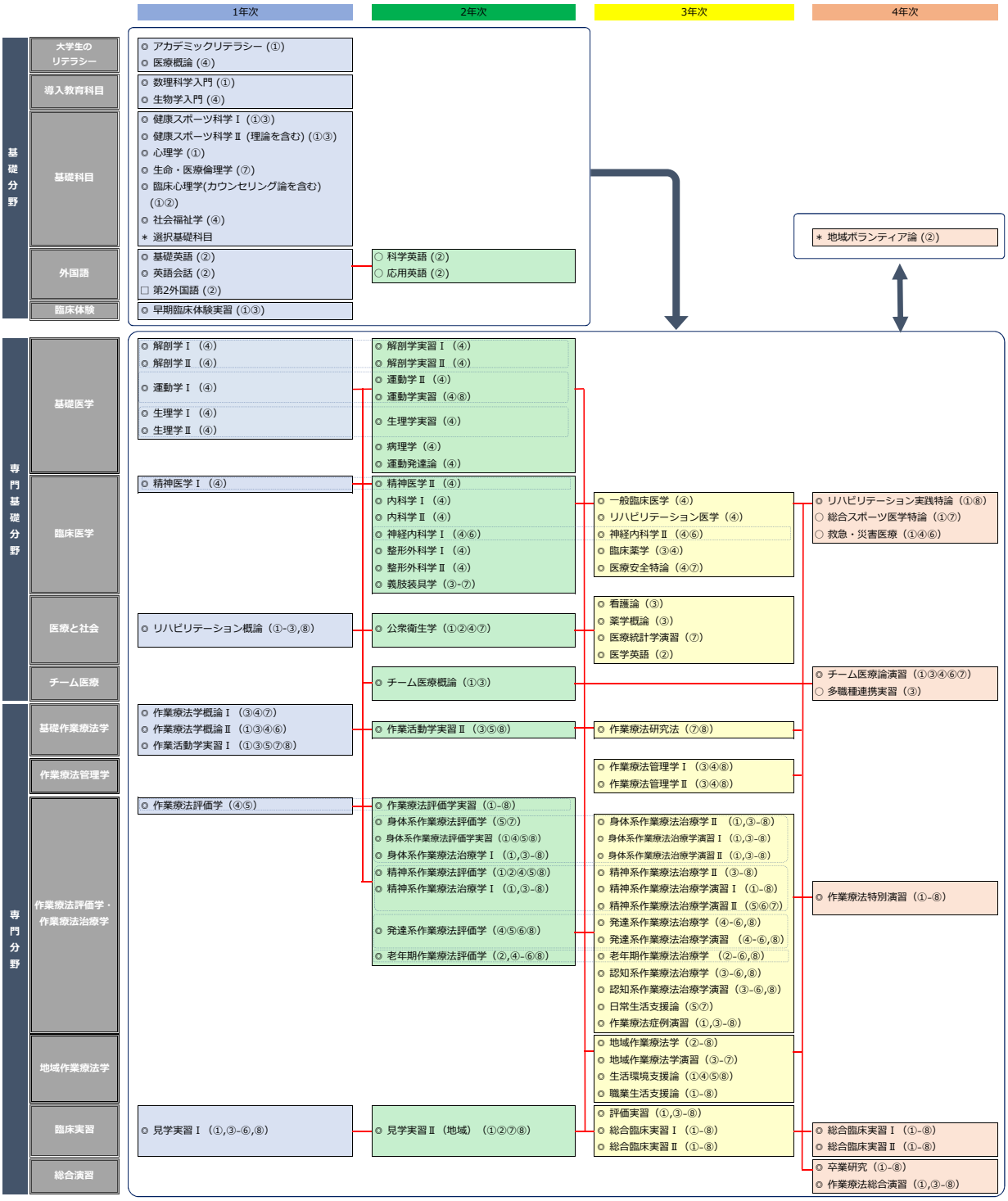
リハビリテーション学部作業療法学科 履修系統図 （2019(H31)年度入学生～）

リハビリテーション学部作業療法学科のカリキュラムは、作業療法を実践するために必要な作業療法学、医学、医療、保健、福祉、行政などに関する知識を修得するものである。この履修系統図はそれをどのように達成するかの道筋を示したものである。



◎ **必修科目**　○ **選択科目**　□ **選択必修科目**

科目名横の数字は関連するディプロマ・ポリシーを表す。

＊ **選択基礎科目**

化学と生命 (①④)、教育学 (①)、芸術学 (②)、社会学 (①)、哲学 (①)、人間発達学 (①②)、科学論 (①)、情報の科学 (①)、食品・環境論 (①④)、生物学 (④)、法学(日本国憲法を含む) (①)

□ 第二外国語

韓国語(②)、中国語(②)

リハビリテーション学部ディプロマ・ポリシー

① 人々の幸福と健康に貢献するための行動ができる。
② 地域社会から国際社会に至る多様な文化や価値観を理解できる。
③ チーム医療・地域医療を担う一員として、様々な専門職者と連携・協力できる。
④ 理学療法・作業療法を実践するために必要な医学・医療・保健・福祉・行政などについて理解できる。
⑤ 対象者の抱える問題に対応した基本的な理学療法・作業療法が実践できる。
⑥ 急性期から回復期、施設・在宅の生活期に至るそれぞれのフェーズの問題に対応できる。
⑦ 様々な領域の臨床的課題を解決するための取り組みを実践できる。
⑧ 継続的に自分の能力を磨き、他者とともに自己を高めていくことができる。

リハビリテーション学部作業療法学科カリキュラムマップ　(2019(H31)年度入学生～)

科目区分		授業科目の名称	配当年次	ディプロマ・ポリシー							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
基礎分野	大学生のリテラシー	アカデミックリテラシー	1前	○							
		医療概論	1前				○				
	導入教育科目	数理科学入門	1前	◎							
		生物学入門	1前				◎				
	基礎科目	健康スポーツ科学Ⅰ	1前	◎		○					
		健康スポーツ科学Ⅱ（理論を含む）	1後	◎		○					
		生物学	1後				◎				
		心理学	1前	○							
		哲学	1前	○							
		人間発達学	1前	○	○						
		生命・医療倫理学	1後							◎	
		芸術学	1前		◎						
		社会学	1前	◎							
		臨床心理学（カウンセリング論を含む）	1後	○	○						
		社会福祉学	1後				◎				
		教育学	1前	◎							
		法学（日本国憲法を含む）	1後	◎							
		化学と生命	1前	○			○				
		科学論	1後	○							
		情報の科学	1後	◎							
		地域ボランティア論	4後		◎						
		食品・環境論	1後	○			○				
	外国語	基礎英語	1前		○						
		英語会話	1後		○						
		科学英語	2前		○						
		応用英語	2後		○						
		韓国語	1後		◎						
		中国語	1後		◎						
	臨床体験	早期臨床体験実習	1前	○		○					
専門基礎分野	基礎医学	解剖学Ⅰ	1前				◎				
		解剖学Ⅱ	1後				◎				
		解剖学実習Ⅰ	2前				◎				
		解剖学実習Ⅱ	2前				◎				
		生理学Ⅰ	1前				◎				
		生理学Ⅱ	1後				◎				
		生理学実習	2前				◎				
		病理学	2前				◎				
		運動学Ⅰ	1後				◎				
		運動学Ⅱ	2前				◎				
		運動学実習	2後				◎				◎
		運動発達論	2前				◎				
	臨床医学	一般臨床医学	3前				◎				
		リハビリテーション医学	3後				◎				
		内科学Ⅰ	2前				◎				
		内科学Ⅱ	2後				◎				
		神経内科学Ⅰ	2後				◎		○		
		神経内科学Ⅱ	3前				◎		○		
		整形外科学Ⅰ	2前				◎				
		整形外科学Ⅱ	2後				◎				
		精神医学Ⅰ	1後				◎				
		精神医学Ⅱ	2前				◎				
		義肢装具学	2後			◎	◎	○	○	○	
		臨床薬学	3前			◎	◎				
		医療安全特論	3前				◎			◎	
		救急・災害医療	4後	◎			◎		◎		
		総合スポーツ医学特論	4後	◎						◎	
		リハビリテーション実践特論	4後	◎							◎

	医療と社会	リハビリテーション概論	1前	◎	◎	○					○
		看護論	3前			◎					
		薬学概論	3前			◎					
		公衆衛生学	2前	◎	◎		◎			◎	
		医療統計学演習	3後							◎	
		医学英語	3後		○						
	チーム医療	チーム医療概論	2後	○		○					
		チーム医療論演習	4前	○		○	○		○	○	
		多職種連携実習	4前			◎					
専門分野	基礎作業療法学	作業療法学概論Ⅰ	1前			◎	◎			◎	
		作業療法学概論Ⅱ	1前	○		◎	◎		◎		
		作業活動学実習Ⅰ	1後	◎		○		○		○	◎
		作業活動学実習Ⅱ	2後			○		◎			○
		作業療法研究法	3後							◎	○
専門分野	作業療法管理学	作業療法管理学Ⅰ	3前			◎	○				○
		作業療法管理学Ⅱ	3後			◎	○				○
	作業療法評価学	作業療法評価学	1後				◎	○			
		作業療法評価学実習	2後	○	○	○	○	◎	○	◎	○
		身体系作業療法評価学	2前					○		○	
		身体系作業療法評価学実習	2前	○			○	◎			○
		精神系作業療法評価学	2前	○	○		○	◎			○
		発達系作業療法評価学	2後				○	◎	○		○
		老年期作業療法評価学	2後		◎		○	○	○		◎
	作業療法治療学	身体系作業療法治療学Ⅰ	2後	○		◎	○	◎	○	◎	○
		身体系作業療法治療学Ⅱ	3前	○		○	◎	◎	○	○	○
		身体系作業療法治療学演習Ⅰ	3前	○		○	◎	◎	○	◎	◎
		身体系作業療法治療学演習Ⅱ	3通年	○		○	◎	◎	○	○	○
		精神系作業療法治療学Ⅰ	2後	○		○	◎	◎	○	○	○
		精神系作業療法治療学Ⅱ	3前			○	○	◎	○	○	○
		精神系作業療法治療学演習Ⅰ	3前	◎	○	○	○	◎	○	◎	◎
		精神系作業療法治療学演習Ⅱ	3後					◎	○	○	
		発達系作業療法治療学	3前				○	◎	○		○
		発達系作業療法治療学演習	3通年				○	◎	○		○
		老年期作業療法治療学	3前		◎	○	○	◎	○		○
		認知系作業療法治療学	3前			○	○	◎	◎		○
		認知系作業療法治療学演習	3後			○	○	◎	◎		○
		日常生活支援論	3前					◎		○	
		作業療法症例演習	3後	○		○	○	○	○	○	◎
		作業療法特別演習	4後	○	○	○	◎	○	○	○	○
	地域作業療法学	地域作業療法学	3前		○	○	○	○	◎	○	○
		地域作業療法学演習	3後			○	○	○	◎	○	
		生活環境支援論	3前	◎			◎	◎			◎
		職業生活支援論	3後	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎
	臨床実習	見学実習Ⅰ	1前	○		○	○	○	◎		◎
		見学実習Ⅱ（地域）	2後	◎	○					○	○
		評価実習	3後	◎		◎	◎	○	◎	◎	◎
		総合臨床実習Ⅰ	3後～4前	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
		総合臨床実習Ⅱ	3後～4前	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	総合演習	卒業研究	4後	◎	○	○	○	○	○	○	◎
		作業療法総合演習	4後	◎		○	◎	○	○	○	○

リハビリテーション学部ディプロマ・ポリシー

① 人々の幸福と健康に貢献するための行動ができる
② 地域社会から国際社会に至る多様な文化や価値観を理解できる
③ チーム医療・地域医療を担う一員として、様々な専門職者と連携・協力できる
④ 理学療法・作業療法を実践するために必要な医学・医療・保健・福祉・行政などについて理解できる
⑤ 対象者の抱える問題に対応した基本的な理学療法・作業療法が実践できる
⑥ 急性期から回復期、施設・在宅の生活期に至るそれぞれのフェーズの問題に対応できる
⑦ 様々な領域の臨床的課題を解決するための取り組みを実践できる
⑧ 継続的に自分の能力を磨き、他者とともに自己を高めていくことができる